

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 丹原の郷

(ユニット名) 北町

記入者(管理者)
氏名 山内 美登里

評価完了日 平成20年5月18日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			開設時に経営者が作ったもので、変更はしていない。管理者がわかりやすい文章にして、職員で共有している。理念は、名札の裏にも記載している。		職員全員が、理念を理解し実践できるよう、ユニット会等での話し合い、勉強を取り入れる。
			(外部評価)		
			「地域行事に参加する」ことを事業所の理念に掲げ、地域とかかわることを積極的にすすめ、町の商店街で行われる七夕祭りや地域祭等に積極的に参加されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			掲示や名札の裏に掲載しており、日々努めている。日々の申し送りに具体的にどのような対応をするか話し合っ、ケアに取り組んでいる。		日常生活の中で、意識し反映されているか、定期的に職員間での話し合いをしていきたい。
			(外部評価)		
			事業所の理念を名札の裏に記載し、共用空間にも掲示され、職員間で共有して理念を実践できるよう取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			行事や運営推進会議の時に話をしたり、利用者・家族・ホームを訪問する方に理解してもらえるように、見やすいところに理念を掲示している。		家族や地域の方々に伝えるよう、会話の中に取り入れたい、広報誌に記載する。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 毎朝の散歩の時に、こちらから挨拶を交わし、お天気や畑の作物などの話題から、気軽に立ち寄ってもらえるよう努めている。		GHがどのようなものか知っていただく機会を作りたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の七夕祭りに出品し、見物に行ったり、秋祭りや神明祭に参加し、地域の人々と交流を持つよう努めている。また、一部の利用者は、地区の敬老会にも参加している。 (外部評価) 事業所では、利用者とともに菊の花を育てておられ、秋には菊見会等を開催されている。地域の方達の見学も年々増えている。		民生委員の方や、婦人会の方を通じ、認知症についての話をすることにより、グループホームの理解を広めて生きたい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 介護相談を受けている。		運営推進会議を通して、婦人会や民生委員の方々と意見を交わし、取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員間で意義を十分に理解しているとは言えないが、自己評価をすることで、日々のケアに対する姿勢を見直し、良い機会となっている。 (外部評価) 自己評価は、職員で評価項目を分担して取り組み、話し合いをされてユニットのリーダーがまとめられた。職員は、自己評価作成時、ケアについて振り返り、雰囲気作りや利用者を受け入れることの大切さを感じられていた。前回の評価結果を受けて、介護計画の内容の充実に取り組まれた。		自己評価をすることで、日々のケアに対する姿勢を見直し、改善計画を立て、職員全体で取り組むよう努める。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、利用者にも参加していただいている。各ユニットから写真を使った行事などの報告をし、家族や地域の方からの意見を伺い、サービスの向上に取り組んでいる。		まだまだ、参加者からの意見が出にくいので、発言しやすい雰囲気作りや流れを考えていきたい。
			(外部評価)		
			会議では、事業所の活動の報告や利用者の暮らしの希望等を発表し、出席者にご意見をいただく等されている。又、介護計画の立て方や、利用料金についても説明等されている。		今後、会議に近所の方等、いろいろな方に参加いただけるよう呼びかけたいと考えておられた。会議時、出席者から意見を引き出せるよう、工夫を重ねていかれることが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			お花見、敬老会などの行事の案内をし、足を運んでいただけよう努めている。		行事に参加していただき、親近感を持つことができたので、機会があるごとに参加を呼びかけたい。
			(外部評価)		
			介護相談員を受け入れておられ、ケアの質向上に向けて話し合われている。運営推進会議時、市の担当者の方より、ご家族の声の大切さについてお話をいただいた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			管理者が対応している。制度についての研修に参加している。		管理者に協力してもらい、制度について職員間で勉強していく。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修に参加し、職員間での学習に努めている。また、些細な発言に対しても注意するよう努めている。		言葉遣いに関しても、職員間で注意し合っていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者が対応している。入居前に文書を用いて説明をしている。		職員も内容を熟知し、説明ができるよにしていきたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情相談窓口を設けている。運営推進会議に利用者も順番に参加していただき、発言できる機会を設けている。また、介護相談員の訪問時に、相談してもらう機会を作っている。		アンケートを実施し、利用者の意見を聞きだして、運営に反映させていくようにする。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 掲示板を使って、日々の様子を写真で掲示し、面会時に見ていただけるようにしている。また、毎月、身体状況や日々の様子を文書にて家族に配布している。身体状況に変化があった時は、電話連絡にて様子を伝えている。		職員同士で利用者の状態を共有し、どの職員でも利用者の様子を伝えられるよう、日頃からまとめておくようにしたい。
			(外部評価) 毎月、ご家族あての「日常生活報告書」で、利用者個々の暮らしぶりや健康状態等について報告されている。又、遠方にお住まいのご家族の方には、電話等で近況報告をされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情相談窓口を設けている。運営推進会議で話し合う機会を作っている。		職員が介入せず、家族のみで話し合っただけだと、本音を語りあう機会を作りたい。
			(外部評価) ご家族の来訪時や電話等でも、ご家族から意見をいただけるよう働きかけておられる。		今後、事業所では、アンケートの様式を工夫する等、ご家族から要望や意見を引き出せるよう、取り組みをすすめていきたいと考えておられた。さらに、ご家族の心情も踏まえて、話し合える雰囲気作りやきっかけ作り等、工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 年1回、管理者が職員と個別に話す機会を設けている。それ以外でも、勉強会、朝夕の申し送り時の機会に意見や要望を述べている。入職間もない時でも、感じた事や意見を出してほしいと管理者より言われている。		職員のスキルアップや業務の改善の為の意見や提案をしていきたい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 入居、受診、外出、行事、研修等、必要に応じて職員数を増やすよう勤務調整している。		行事や外出の時は、職員を増やし、利用者の安全を確保していきたい。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) できる限り、異動を最小限にし、なじみの職員が対応できるようにしているが、職員の質の向上を目的に、異動することもある。 (外部評価) 事業所では、職員の採用時、「人へのやさしさと愛情」を持っていることに重点を置いておられる。職員の悩みには、センター長がゆっくり話を聞き、アドバイスをされている。		利用者、家族に不安感を与えないようにしていきたい。できる限り異動のないようにしていきたいが、ユニット間での一部交代による利点も考えていきたい。
5.人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会を確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 月1回、勉強会をおこなっている。内容も、あらかじめ職員から希望を取り、年間の予定を立てている。資格取得を支援し、研修を受けてもらっている。 (外部評価) 職員の希望を聞き取り、勉強会を行なっておられる。又、系列病院で「感染症について」や「老人医療について」等、定期的に勉強する機会が設けられており、職員は交代で参加されている。		研修内容を職員同士で共有できるよう、回覧方法や報告の方法を検討していく。研修参加後の報告書を速やかに提出できるようにしていく。 職員は、介護の知識や技術の向上に向けてさらに勉強を重ねていきたいと話しておられた。今後も、職員の段階に応じた研修等を重ね、貴事業所のさらなるサービスの質の向上に向けて取り組んでいかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>G H連絡協議会東予地区の研修に参加し、地域の同業者と交流する機会としている。相互評価に参加し、他のG Hとのネットワーク作りを行い、サービスの向上へと繋げていけるように努めている。</p>		研修の場だけでの交流で終わらせるのではなく、交流を続けていく努力をしていきたい。
			(外部評価)		
			<p>相互評価時に交流のあった他事業所の職員とは、その後も菊見会に訪問がある等、交流を続けておられる。又、地域の福祉施設とともに果物狩りを楽しまれる等、交流を持っておられる。</p>		
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>運営者と接する機会は少ない。親睦会、忘年会を行っている。普段から、相談しやすい雰囲気作りを努めている。休憩室を設け、他ユニット職員ともゆっくり話をし、交流が持てるようにしている。</p>		勤務時間中に気分転換の時間をとるように管理者から要望はあるが、充分とれていないので、努力していきたい。
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>管理者が職員一人一人と話し合う機会を設けている。職員の資格取得を支援し、勉強会をおこなったり、資格取得の情報を提供するようにしている。</p>		運営者の参加を日頃からしていただけるように依頼する。
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>まず、管理者が入居前より本人・家族より情報を収集し、馴染みの関係作りに努めている。併設のデイサービスを利用するなどし、ホームになれていただけるよう支援している。</p>		利用者と交流を深めてからの入居にいたるようにしたい。利用者の生活歴を早い段階で把握するよう努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居申し込み時より相談を受け、そのときに応じた対応に努めている。不安に思っていることや困っている事などを聞いている。		ゆっくりと話をする機会を設け、家族の状況を把握し、信頼関係を築いていきたい。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居申し込み時に困っている事があれば、緊急性などを勘案して対応している。		相談を繰り返すことで、信頼関係を築き必要なサービスに繋げたい。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になんげに馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居前に、ホームを見学してもらい、GHの雰囲気や生活の様子を感じてもらおうとしている。また、隣接のデイサービスを利用中にGHの利用者と交流を持ってもらい、なじみがもてるよう努めている。 (外部評価) 併設のデイサービス利用者の入居もある。入居前には事業所を見学いただき、事業所での生活について説明をされる等、ご本人、ご家族ともに納得を得て入居に至れるよう取り組まれている。		利用開始前に、職員が会いに行ったり、来てもらい、短時間でも一緒に過ごす事をして、徐々に安心感をもってもらおうようにしたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 生活していると日々いろいろな事があり、その場その時々で一緒に感じ会えるよう努めている。梅干やラッキョウ作りや野菜の下ごしらえの方法などを教えてもらうことがある。労わりの言葉があったり、職員を気遣ってくれる行動もある。 (外部評価) 職員は、利用者同士のかかわり方等から「付き合い方」を学んでおられる。利用者から料理等、家事を教えていただくことも多い。		一緒に喜怒哀楽を感じながら、学び支えあう関係作りをしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の方に、利用者の日々の様子を伝え、どのように関わると利用者がより生き生きと暮らせるかなど話し合い、協力して支援していただけるような関係作りに努めている。		利用者の日々の様子や職員の思いを伝えることで、協力関係が築けるようにしていきたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している	(自己評価) 家族の方にお話を伺い、情報を得るようにし、本人だけでなく家族の思いも含めて理解するよう努めている。そして、良い関係が継続できるよう支援している。		利用者と家族の潤滑油となるよう支援していきたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 地域の敬老会に参加したい方には、参加できるよう支援している。		繋がりを継続できるよう支援して行きたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士が関わりやすいよう、食事の席を考えている。職員が間にはいり、利用者同士の関係が円滑になるよう配慮している。		利用者同士の関係や個性を配慮して、トラブルが起こらないようにしていきたい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院された方がいれば、利用者とお見舞いにいっている。他の施設に入所された方については、家族からの相談を受けることもある。		入院された方には、利用者と一緒にお見舞いに行くようにする。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			家族の方から情報を頂いたり、日々、利用者の話の中から、思いや希望を聞き出したり、把握するよう努めている。		一人ひとりとゆっくり話をする時間を作り、利用者の思いを知るよう努める。
			(外部評価)		
			職員は、日常的に利用者ご本人から希望等を聞くようにされている。ご不満があるような場合には、ゆっくりと納得のいくまでお話を聞き、話し合うようにされている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			家族の方や利用者から今までの暮らしを聞いて情報収集に努めている。		日々の会話や、家族・友人などの話の中から少しでも情報を得られるようにし、得た情報を記録していく。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			一日の生活の様子がわかるよう記録している。体調や精神面での変化がわかるように記録しており、職員間で同じ情報が得られるようにしている。		生活記録などから、本人のリズムを把握し、職員間で申し送り情報を共有する。できることは、時間をかけても自分でできるよう働きかける。
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			利用者、家族の方から思いや意見を聞き、また、日々の暮らしぶりから得た情報について話し合い、介護計画を作成している。		会話や行動の中から、本人がどのように暮らして行きたいのかを一緒に考える。家族の方にも意見や希望を聞き、反映させていく。
			(外部評価)		
			毎月、職員が集まり介護計画について話し合い、ご家族の意見も採り入れ、計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			3ヶ月に1回、カンファレンスを行っている。また、変化に応じて見直している。利用者、家族の方に希望を伺い、反映できるように努めている。		利用者、家族の希望を職員間で共有し、それらを踏まえて介護計画の見直しを行っていく。心理面や体調の変化に合わせて、随時介護計画を見直す。
			(外部評価)		
			定期的見直しと、状態変化時には随時の見直しを行なっておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の様子や利用者の発言・ケアの内容などを具体的に記録している。職員の気付いた事や利用者の状態の変化は、申し送りノートを活用して、職員間で情報の共有ができるようにしている。		職員の気づきを記録・共有し、介護計画に反映していく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			隣接のデイサービスや認知症対応型通所介護、ショートステイなどを活用し、利用者本人や家族の状況に応じて支援できるよう努めている。		
			(外部評価)		
			地域の要望も多くあり、事業所内でショートステイや通所介護を受け入れておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 歌や踊りなどのボランティアが定期的に来訪し、利用者は楽しみにしている。		今後もボランティアの方々とのよい関係を継続し、協力を得ていきたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 管理者が対応している。		管理者に任せる。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議開催時に来訪する機会を使って、相談をしている。		管理者に任せる。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人や家族と話し合い、希望する病院を受診できるよう支援している。協力医療機関の内科医師がかかりつけ医となっている方が多く、週1回の定期的な往診を受けている。近くの病院もほとんど協力してくれている。 (外部評価) 協力医療機関とは、24時間いつでも相談できる体制があり、事業所や併設のデイサービスの看護師とも相談しながら対応されている。		本人・家族と話し合い、希望する病院を受診できるよう支援する。定期的な受診や往診の支援を続ける。
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関の医師が、毎週1回定期的に往診に来ており、その時に利用者の症状を提供し、指示を受けている。		認知症に関する診断や治療対処法など、医療関係の対応が利用者個々にできるようにしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師を配置しており、利用者の健康状態を知っており、必要に応じた対応をおこなっている。		日頃の健康管理や医療面の相談助言を継続していく。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時に、利用者の普段の状況や支援方法に関する情報を医療機関に提供している。家族、医師と相談しながら早期退院への話し合いをおこなっている。		より、短期間にスムーズな退院に繋がるように、病院関係者や本人・家族と話し合い、必要な支援を行っていく。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 早い段階から本人・家族と今後について話し合い意向を聞き、医療機関とも連携をとって支援している。		状態の変化があるごとに、家族の気持ちの変化に注意を払い、話し合いや説明を明確に行っていく。
			(外部評価) 入居時、ご本人ご家族に事業所の浴室や浴槽等も見ていただき、事業所でどの段階まで対応可能か知っていただき、納得いただけるよう取り組まれている。ご家族は、ご本人の状態に応じて、医師とも話し合うようになっている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 一日でも長くグループホームでの生活が続けられるよう、家族、医療機関と協力し、グループホームで出来る事を支援できるよう努めている。		医療との連携体制を継続し、備えをしておきたい。管理者から、家族や医師との話し合いを引き継ぎ、利用者や家族の希望に応じた終末の援助をしていく。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 住み替えに関しては、入院することが多くあり、情報提供し、本人の混乱が少しでも少なくなるよう努めている。		新しい住まいに変わっても、なじみの職員が機会を作って訪問に行くなど、これまでの暮らしの継続性が損なわれないよう協力をしていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 言葉使いに注意し、更衣・排泄・入浴時等、本人を傷つけないよう、関わり方を考えている。他の家族や外来者には、利用者のプライバシーに関することは絶対に話さないよう努めている。		馴れ合いになることのないよう、尊厳のある言葉かけや対応をしていく。プライバシーの保護は、職員間で徹底して行う。
			(外部評価) 職員は、利用者個々の性格等も把握して対応されている。		さらに、職員の利用者に対するかかわり方について「さりげないケア」という点から話し合う機会とされてはどうか。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 外出や衣類の選択など、利用者がどうしたいのかを表現できるように働きかけ、自分で決めてくらせるよう支援している。外食等も、好きなメニューが選べるよう支援している。食べたいメニューを献立に取り入れるようにしている。		自己主張をあまりしない利用者に対しては、一対一でゆっくり話をするなどし、希望をきいていく。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者一人ひとりの体調に配慮しながら、その日その時の利用者の気持ちを尊重しながら支援している。買物、散歩、園芸などの援助をし、利用者個々の意思を尊重できるよう努めている。		散歩や家事をする時も、利用者の一人一人の気持ちをうかがいながら、それぞれのペースにあわせて対応していく。
			(外部評価) ご自宅で飼っておられた愛犬と一緒に入居された方は、雨の日も、職員とともに散歩をさせておられる。昼食後に、共用空間の和室で横になっておられる方もおられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) お化粧がしたい方がいれば、職員と一緒にしている。散髪は利用者の希望に応じた髪型にしている。		生活習慣に合わせ、おしゃれを楽しんでいただけるよう工夫していく。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 調理、盛り付け、片付けなど、利用者と一緒にいき、職員と利用者が同じテーブルを囲んで食事ができるよう雰囲気作りも大切にしている。筍、つくしなど、旬の食材を取り入れ、季節感を味わっていただけるよう取り入れている。 (外部評価) 食事作りに、利用者の力量に応じて、無理なくかかわることができるよう場面作りをされている。らっきよや梅を漬ける等、季節のものや旬のものを採り入れ、利用者に教えていただきながら作っておられた。		利用者の食べたいものをもっと取り入れて、食事を楽しめるようにしていく。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 牛乳の嫌いな方には、ミルクティーやココアにするなどしている。パンの好きな方が多いので、おやつに取り入れている。		利用者の好みのものや、懐かしいお菓子なども、もっと取り入れていく。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄記録をつけ、個々の排泄リズムを把握し、その人に応じた誘導をしている。また、リハビリパンツを使用している方でも、日中は、布パンツで過ごせるよう支援している。		排泄のパターンを把握し、トイレでの排泄が多くなるように支援していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			午後より入浴の時間を設けており、希望の時間帯や順番を利用者と相談しながら行っている。好みの湯量や温度を聞いている。		温泉に行くことを検討していきたい。入浴の準備も、利用者とゆったりできるよう、職員もゆとりを持って接することができるようにしていきたい。
			(外部評価)		
			入浴時、身体は出来るだけ自分で洗えるよう支援されている。足湯を楽しむに出かけられることもある。		利用者の中には温泉を楽しみたいというような希望も出されている。ご家族にも協力を得る等、さらに、利用者個々がお風呂を楽しめるような支援を重ねていかれることが期待される。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中できるだけ、活動を促し、生活のリズムを整えるよう努めている。入眠前には、ホットミルクを飲んだり、談話してリラックスできるようにしている。		寝付きの悪い時の対応について、職員間で情報を共有し、どの職員も対応できるようにしたい。薬に頼ることなく、ぐっすり休めるようにしたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			ている。得意分野で一人ひとりの力を発揮してもらえるよう、できることをお願いし、職員も感謝やねぎらいの言葉をかけ、意欲や役割をもってもらえるよう支援している。		日々の暮らしの中から利用者の力を見出し、役割を持って過ごしていただけるよう支援していきたい。
			(外部評価)		
			季節に応じて果物狩りやお花見を楽しまれている。又、畑の世話や利用者それぞれの鉢で菊を育てておられる。雨の日でもウッドデッキでくつろげるようになっていた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			自分で小額を管理されている方が1名いる。施設で立替をしている方が多く、買物にいった時は、お金を利用者に払ってもらうにしている。		買物に行っても、職員が支払いをするのではなく、利用者が支払いできるように支援していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天気の良い日は、散歩や外で外気浴をすることを日課としている。廊下から外へ出て、野菜を収穫したり、草引きをされる方もおり、本人の希望に沿って戸外へ出かけられるよう支援している。また、食材の買物に週2回行く際に、利用者と一緒に出かけている。		外出先が固定されていないか、検討し、利用者が楽しめるよう支援していく。また、馴染みの場所や懐かしく思っている場所へも外出していけるよう検討していく。
			(外部評価) 天候等を見ながら毎日散歩を楽しまれている。時に、利用者の馴染みの場所に出かけてみるようなこともある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 希望があれば、家族の協力を得て支援しているが、全ての人の希望通りには対応できていない。		利用者の希望を改めて確認し、家族にも協力を働きかけて行きたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者の希望に応じて、電話をかけたたり、手紙をだせるよう支援している。年賀状、暑中見舞いを出す支援もしている。		自由に電話をかけられることは続けていく。年賀状や暑中見舞いだけでなく、手紙やハガキを書く機会を見つけていく。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 家族の方、知人友人のかたなどに気軽に訪問してもらえるよう、挨拶や雰囲気気に気を付け、笑顔で挨拶をしている。食事時間やおやつ時間にいらっしたときは、いっしょに食事やおやつを食べていただくこともある。		今まで通り続けていく。職員とも顔なじみになり、気軽に相談などしていただけるようにしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束について正しく理解できるよう研修に参加している。日常的に、身体拘束の必要はなく、行っていない。		勉強会などに積極的に参加し、理解を深めていく。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵をかけず、利用者の状態や希望に応じて戸外へ、庭で過ごしたりできるよう支援している。 (外部評価) 日中、玄関には鍵をかけず、自由に出入りできるようにされている。		継続して取り組んでいく。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員は、利用者9名の所在と様子を常に意識し、職員間で連携をとって動くよう努めている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者に応じて、家族の方とも話し合い、身の回りのものについて、保管・管理している。ハサミ、針などは職員が預かり、必要な時にお渡ししている。		希望があればすぐに使用できるように配慮する。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 利用者ごとに、ADLや精神状態、嚥下状態などを把握し、細やかな対応に努めている。転倒などあったさいは、職員で原因や対策について話し合い、文書に残している。		同じ繰り返しをしないように、話し合い、事故防止策を徹底していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変や事故発生時に慌てず対応出来るよう研修に参加したり勉強会で学習している。		勉強会で、実演を交え学習し、より慌てずに迅速に対応出来るように努めたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 総合避難訓練を年2回行っている。地域の方の協力・連絡網等、体制作りをしている。		夜間を想定した訓練も実施して、備えていく。
			(外部評価) 年2回火災時の訓練を行っておられ、地震時の対応についても話し合っておられる。避難場所の確認をされている。		今後、夜間を想定しての避難訓練や、利用者とともに避難訓練を行いたいと考えておられる。さらに、地域の方達との相互協力体制を作っていかれることも期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 普段の生活を送る上で起こりうる事故について、管理者が家族の方に説明し話し合っている。		管理者のみでなく、職員も話しあう機会を持つようにしていく。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日、朝と昼にバイタルチェックを行い、異常の早期発見に繋げ、記録に残し、情報の共有にも努めている。異常のあるときは、医師に相談し指示を仰いでいる。		毎日のバイタルチェックは今後も続けていく。異変異常に気が付いた時は、速やかに医師に報告することを続ける。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価) 利用者が使用している薬は、薬の目的や副作用・用法容量について一覧できるように、利用者別にファイルにしている。正しく服用できるよう手渡しし、見守りを行っている。新しい薬や臨時薬があった場合は、服用後の様子に注意している。</p>		<p>利用者がどのような薬を服用しているか、再度職員間で確認しあう。</p>
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 便秘予防として、利用者の排便状態を把握し、体を動かしたり、乳製品や野菜、果物を取り入れている。</p>		<p>今後も食事内容を工夫していく。</p>
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 毎食後、声かけをして口腔ケアをおこなっている。磨き残しがあれば、職員が介助をしている。</p>		<p>毎食後の歯磨きの声掛けは、今後も続けていく。利用者一人一人の力に応じた歯磨きの介助をおこなっていく。</p>
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 毎日の食事量、水分の摂取状況をチェックし、記録している。栄養バランスも考えつつ、利用者の嗜好、食べやすい物を取り入れている。</p> <p>(外部評価) 利用者の状態に応じて減塩に心がけられたり、調理方法等にも配慮をされている。水分摂取にも気を配り、夜間トイレに起きられた際には、水分を摂れるようすすめておられる。</p>		<p>自分からのどの渴きを訴える方が少ないので、いつでも水分がとれるよう飲み物を準備し、声掛けをしていく。</p>
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価) うがい、手洗いを実施し、ペーパータオルを使用している。利用者、職員共にインフルエンザの予防接種を受けている。</p>		<p>マニュアルの見直しをし、職員全員が熟知できるようにしていく。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 冷蔵庫内の整理・掃除をし、早めに食材を使うようにしている。週2回買物に行き、買いだめをしないようにしている。まな板や布巾の漂白をこまめに行っている。衛生栄養委員会を中心に定期的に衛生管理や見直しをしている。		衛生管理を今後も続けていく。新鮮な食材は新鮮なうちに使用するよう心がける。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 入り口に花を生けたり、観葉植物を置いたり、利用者と一緒に花を植えたりと、親しみやすい雰囲気となるよう努めている。		季節の花を利用者と一緒に育てていく。
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共有の空間に、季節感のある飾り物をしたり、花瓶に花を生けて飾ったりと、居心地の良い空間作りをしている。		利用者の意見を取り入れて工夫していく。
			(外部評価) 共用空間に和室があり、洗濯物を畳んだり、横になって休んでおられる方もうかがえた。玄関周りの草花を眺められるよう、ベンチが設置されていた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファを置き、外やテレビをみながらくつろげる空間を作り、また、利用者同士で交流がもてるような環境作りをしている。ウッドデッキや戸外に椅子、テーブルを置き、くつろげるスペースを設けている。		利用者同士の交流が持てるよう、定期的に席替えをしたり、職員が介入していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			利用者が作った物を飾ったり、家族と写った写真を貼ったりしている。使っていた、鏡台やソファ、タンスを持ってきている利用者もいる。		季節ごとの利用者の写真を飾っていく。家族の方にも、使い慣れたものを使うことの良さを繰り返し伝えていく。
			(外部評価)		
			ご家族からのプレゼントを大切に飾られている方がおられる。介護度が重度で居室で過ごすことが多い方には、ご家族からの要望でお好きな花の写真が多く飾られていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			利用者の意見を聞き、室温調整をおこなっている。窓を開け、換気をおこなっている。共有スペースでは、空気清浄加湿器を使用している。冬は、湯たんぽを使用して足の冷えを解消する方もいる。		室温は個人差に配慮して対応していく。トイレの臭いが木になることのないように換気扇や日頃の掃除に努める。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			家具の配置など、利用者が動きやすいように個々に対応している。		生活動作の妨げにならないよう家具の配置に気をつける。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			テレビの上に日めくりを作り、利用者ができるようにしている。自室には、表札を作っている。		利用者が混乱する事のないよう、個別に対応していく。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			畑で野菜を育て収穫したり、花を植えて育てている。ウッドデッキや玄関先にベンチやテーブルを置いて、外気浴や夕涼みができるようにしている。		午前中の散歩が日課となっているため、他のユニットの利用者との交流の場、憩いの場となりつつある。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己 ②利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々の生活の中で、利用者の意向・気持ちを聞くようにしている。職員が、こうであろうと考えることが、必ずしも同じではないと感ずることがある。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己 ①毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	リビングに出て過ごす利用者が多く、職員と談笑して過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	起床、就寝時間、食事時間、入浴時間など、各自のペースを尊重しているが、全てタイムリーにできないこともある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不安感の強い利用者も、他の利用者や職員の声掛けによって表情が和らいでいる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	草引きや花摘みを希望される方がいるので、職員と一緒にいる。外出は、利用者の希望も聞くが、職員が提案する事が多く、公園や外食に利用者の同意の下出かけている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	協力医療機関があり、毎週往診があるので、利用者も家族も不安があるといわれる方はいない。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日常生活の様子や、職員との会話の中では、比較的安心して過ごしていただいているように感じている。また、職員も楽しく感じる生活時間が多い。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己 ②家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族との込み入った話は、管理者がおこなっているが、面会時に、話を聞いたり相談にのることもある。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己 ②数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	ホーム内の畑の世話をしてくださる方がおり、利用者も一緒に植え付けなどの世話をしている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) 1 大いに増えている ② ② ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	参加されるかたの話や訪れた時の声掛けや話から、GHに興味を持ってもらえ、理解が深まってきているように感じる。
98 職員は、生き生きと働いている	(自己評価) 1 ほぼ全ての職員が ② ② ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員が笑顔で働いており、利用者と一緒に喜怒哀楽を感じ、仕事にやりがいを感じていると思う。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② ② ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の表情が豊かで、おおむね満足しているように感じる。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての家族等が ② ② ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	来訪した際、利用者と共に楽しい笑い声があったり、職員に気軽に話をしてくれている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・自分でできることは、自分でしてもらい、役割をもって生活していただけるよう支援している。(下膳、自室の掃除機がけ、雑巾掛け、上履きの裏を拭く等)

・グループ医療法人の協力を得ており、体調不良時の相談や診療アドバイスを医師からいただけるので、職員も安心して介護に取り組める。

・ボランティアの方の強力で、季節の野菜作りを利用者と一緒に行っている。食べ物では、季節の旬の物を味わっていただけるよう配慮している。利用者と一緒に、梅干・らっきょう漬け、切干大根作り、干し柿作り、果実酒作りなどを行っている。ホーム内の行事だけではなく、苺、さくらんぼ、スモモ、栗、柿、いちじく、みかん狩などに出かけ、収穫を楽しんでいる。夏には、丹原町の象徴である商店街の七夕祭りに七夕飾りを作り協賛している。制作には、デイサービスの利用者にも協力を得て、みんなで力を合わせている。また、利用者やご家族の協力を得て、花を育てている。去年は、育てた菊で、菊見会を開き、ご家族を始め、近所の方や他の施設の利用者を招いた。今年も計画しており、利用者個々の鉢を作り、育てている。